



岩国医療センターだより

2024年5・6月号 VOL.153

ご自由にお持ちください。



こ
こ
へ

② 2024年 院長新年度のご挨拶
幹部 新任のご挨拶

④ 【看護部だより】
5階東病棟 心臓センターの紹介

⑤ 【緩和ケアだより】
緩和ケア病棟 雑感

⑥ 特集【泌尿器科だより】
病気!? 老化現象!? 前立腺肥大症

⑧ インフォメーション

独立行政法人国立病院機構
岩国医療センター
発行・制作：広報委員会

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号
TEL 0827-34-1000 / FAX 0827-35-5600

岩国医療センター 検索 <https://iwakuni.hosp.go.jp>

2024年 院長 新年度のご挨拶



院長 田中屋 宏爾

当院は救命救急センターを持つ医療機関として山口県東部の医療圏における高度急性期医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして市民の方々が安心して暮らし出産や子育てができる環境を地域医療機関や行政と連携しながら支えてまいりました。認可病床数 486、職員数約 1250 名（業務委託含む）で、内視鏡センター、循環器センター、脊椎脊髄センターを設置して、大学病院に準ずる高度な医療を提供し、がんゲノム医療連携病院の指定も受けて遺伝子検査に基づく個別化された薬物療法にも取り組んでいます。また、岩国市の 3 分の 2 を占めるへき地医療を支えることも重要な使命です。

さて、4 年間以上続いた新型コロナウイルス感染症への特別な医療提供体制も、本年（令和 6 年）3 月をもって終了し、やっとコロナ禍前の日常が戻ってきました。一方で、少子超高齢化の問題、罰則も設けられた働き方改革など、医療を取り巻く環境は急激かつ大きく変化しており、明るい地域の未来のためには医療機関も絶えず進化することが求められています。そこで、これまで以上に安全で体にやさしい医療を提供することを目指して、当院は今年度、放射線治療機器、3D 画像解析システム、ロボット支援手術機器など、新規医療機器の導入や最新型への更新を行う予定です。さらに、臨床研究、次世代を担う医療人の育成や、公開市民講座による情報提供も強化してまいります。

患者中心の医療を目指して「地域の皆様から愛され、信頼される病院」を基本理念として掲げ、職員一同、魅力ある街づくりに貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

事務部長 新任のご挨拶

事務部長 難波 和弘

4 月 1 日付人事異動により関門医療センター（下関市）から参りました事務部長の難波と申します。岩国医療センターには 2 回目 12 年ぶりの勤務となりますが、前は旧病院での勤務であり、愛宕山に新築移転した現在の建物での勤務は初めてとなります。まずは院内を迷わず歩けるようにしたいと考えています。

この 12 年の間には熊本地震（2016）や西日本豪雨（2018）などの自然災害も多くあり、また新型コロナウイルス感染症の蔓延も私達の生活に大きく影響を与え、医療の世界にも変革が求められています。当院においてもこうした時の流れに遅れをとらないよう情報収集し、関係機関との連携を深め、職員がプライドを持ち心地よく働ける環境を作ることにより「地域の皆様から愛され、信頼される病院」を目指すことが求められています。

大変微力ではありますが、これまでの経験を活かし、この地域と岩国医療センターに少しでもお役に立てるよう尽力したいと考えておりますので、ご指導の程よろしくお願いたします。

薬剤部長 新任のご挨拶

薬剤部長 西澤 修一

この度、4月1日付で薬剤部長として赴任いたしました西澤修一と申します。

出身は広島市ですが、大学を卒業後は山口県の湯田温泉病院（現在は済生会湯田温泉病院）での1年間の勤務を経て、国立岩国病院（現岩国医療センター）で6年間勤務させていただきました。岩国では、一番若手の薬剤師としての勤務でしたが、処方監査を含む調剤技術や患者さんへの服薬指導など薬剤師として最も必要とされる基礎的な知識を学ばせていただきました。その後、米子、呉、東広島、山口宇部、愛媛と広島県や山口県を中心に渡り歩いてきましたが、この度、再び岩国で勤務させていただく事になりました。

趣味は暇を見つけて、フラッと旅に出かける事です。そのために、体力維持としてバドミントンやウォーキングなどをしております。岩国でも是非継続したいと考えておりますので、お誘いいただけますと幸いです。

新人薬剤師時代に育てていただいた岩国に少しでも恩返しできるよう、努めて参りたいと思っております。微力ではございますが、「身近にいて、頼りになる薬剤部」と言われる事を目標に、日々の業務に励んでいきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

経営企画室長 新任のご挨拶

経営企画室長 井上 昇

みなさま、初めまして。令和6年4月1日付で国立病院機構本部より岩国医療センターに赴任しました経営企画室長の井上昇と申します。高知県出身で、山口県はもちろん中国地方は初めての赴任地となります。

経営企画室は、病院の運営方針・経営戦略などの検討を行う、言わば、運営全体を戦略的に推進するための牽引役となる部署です。病院の経営判断や意思決定のもととなる資料の作成や企画立案を行うためには、経営に関するあらゆるデータを収集・分析することが重要です。各部署に伺い積極的にコミュニケーションを取りたいと思っておりますが、私が話す土佐弁は語尾に特徴があり、「これできちゅう」、「そこに行くき」、「それやるが」と聞きづらく解らない言葉がでてくることがありますので、その時は「もう一回言って」と聞き直していただくと幸いです。

これまでの経験や知識を活かして病院経営・運営に微力ですが貢献できるように努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

副看護部長 新任のご挨拶

副看護部長 宮本 慶克

4月1日付で着任いたしました副看護部長の宮本慶克（みやもとよしかつ）と申します。

私は、平成11年にこの岩国医療センター（旧国立岩国病院）に就職いたしました。右も左もわからなかった私でしたが、諸先輩方の支援のおかげで看護師として成長できました。その後、平成20年に柳井医療センターへ、平成31年に福山医療センターへ異動し、勤務経験を積み、この度副看護部長として戻って参りました。

久しぶりに戻ってきた岩国医療センターは、ハード面のみならず、様々なことが大きく様変わりしていることに驚いています。それでも、今の私の基礎を形作っていただいたこの岩国医療センターには、今度は微力ながら恩返しができればと思っております。

当面は慣れない日々が続く、関係各部署の皆様にはご迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



5階東病棟 心臓センターの紹介

5階東病棟 看護師長
本谷 幸子



5階東病棟は、循環器内科・心臓血管外科の患者さんが入院する心臓センターです。心臓カテーテル検査・治療を含む循環器疾患の治療を受ける患者さんや心臓の手術前後の患者さんが安心して治療を受け、早期に回復できるように多職種で連携し、安心して安全な看護を提供できるように頑張っています。

心不全手帳の使用

特に、心臓の病気は生活習慣が影響しており、再発予防のための体調管理が重要となってきます。そのため、当病棟では『心不全手帳』を使用して、患者さんに病気について説明し、退院後に自分で体調管理ができるように、運動・食事・服薬・症状観察の方法などを指導しています。



運動・食事・服薬について

まず、運動については、入院中は理学療法士の指導の下、心臓にかかる負担を考えながら患者さんの自覚症状や、脈拍や血圧を測りながら運動を行います。そして、退院後も患者さんに合った難易度で運動を続けられるように指導しています。

また、水分や塩分の取りすぎは心臓や血管に負担がかかることが多く制限が必要になることがあるため、必要な患者さんには、食事を作るご家族と一緒に栄養士の食事指導を受けてもらっています。

服薬については、飲み忘れや中断がないように、薬剤師にも協力してもらい、内服薬の効果や服用方法について説明を聞いてもらい、内服薬を準備する練習をしています。



毎日の体重測定

症状観察の方法

他にも毎日看護師と一緒に、血圧・体重を測り、息切れ・むくみ・疲れやすさ・食欲低下・不眠の症状がないか確認し、患者さんに『心不全手帳』に記入してもらっています。心臓病の症状で急激な体重増加や血圧変化は、心臓の働きが弱くなっている徴候であることが多いため、血圧や体重は大切な指標になります。毎日手帳に記録することで早期に症状の悪化に気づくことができます。特に1週間に2kg以上の急激な体重増加やむくみ・息切れの悪化がある場合には、早めに病院を受診することで、悪化を防ぐことができます。

そのため、外来受診の時にはこの『心不全手帳』を持参してください。ご自宅での血圧や症状を確認して治療に役立てます。

おわりに

塩分や水分の制限、運動の制限など、心臓の病気と付き合い合っていく事は、患者さんにとってつらい事も多いと思います。私たちは一人一人の患者さんの生活習慣や思いを確認しながら、よりよい生活が送れるように患者さんと一緒に取り組んでまいります。



心臓リハビリテーションのようす

緩和ケア病棟 雑感



緩和ケアセンター医長
白木 照夫

緩和ケア病棟は約2年間コロナ専用病棟に転用されていましたが、コロナの扱いがいわゆる5類に転じた昨年5月より緩和ケア対象の患者さんの受け入れを再開しております。病棟のご利用を考慮しておられた患者さんには、多大なご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

病棟では新しい看護スタッフを迎え、心機一転患者さんのケアに頑張ってくれています。再開後約1年経過しましたので、コロナ蔓延前後での緩和ケア病棟に関連する気づきについて述べてみたいと思います。

コロナの流行が始まって

病棟閉鎖前から、病棟利用を希望する患者さんが少し減ってきていました。ご家族との面会が自由であった緩和ケア病棟も、コロナの蔓延で一気に制限がかかりました。「入院して面会ができないのなら、面会自由な在宅の方がよい」と感じておられた患者さんやご家族の背中を押したようです。

終末期の患者さんやご家族にとって、面会がいかに大事なイベントであったかが実感されました。



病棟の空白期間とその後の現状

緩和ケア病棟の閉鎖後、専門的な緩和ケアが必要な患者さんは近隣の緩和ケア専門病棟や訪問診療機関に診療をお願いしました。患者さんのご診療をお引き受けいただきました医療機関の先生方には、感謝申し上げます。

緩和ケア病棟を再開してみますと、病棟の利用前にすでに訪問診療の先生方の診療が開始されている例が増えています。

在宅療養の希望は、コロナ禍の中で高まったものの、当院は残念ながら在宅訪問診療の部門がないため、そのご要望には院外の先生方が応じてくださっていることがわかりました。

再度、感謝申し上げます。



コロナウイルス流行前の緩和ケアセンター夏祭りの様子

ボランティア活動の休止

コロナ禍により、病院の中からボランティアさんたちが姿を消しました。

緩和ケア病棟でもコーヒーやお茶のサービス、コーラスや楽器の演奏会、アニマルセラピー、夏祭りやクリスマス会など様々な行事において、多くのご援助をいただいてきました。その活動は患者さんやご家族だけでなく、病棟職員の気持ちも癒してくださっていましたが、いまだ再開の目途が立っていません。



病棟は再開し必要な医療、ケアは行っておりますが、環境整備の面でコロナ前の状況には戻っておらず、病院内でのコロナとの共存は、まだまだ先のここのように感じられます。

以上緩和ケア病棟に関連した状況について、コロナの前後での変化を中心に述べてみました。



泌尿器科 医師 高村 剛輔

日本泌尿器科学会
泌尿器科指導医・泌尿器科専門医
日本泌尿器内視鏡学会
泌尿器腹腔鏡技術認定制度 認定医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
ダヴィンチ Si トレーニングシステム修了
泌尿器ロボット支援手術
プロクター認定制度 認定医
(ダヴィンチ：膀胱・前立腺)

特集

病気!?! 老化現象!?! 前立腺肥大症



前立腺について

前立腺は、男性のみに存在する臓器で、膀胱の出口の尿道を取り囲むように存在しています。排尿や射精に関係したり、精子の運動を助ける前立腺液を分泌したりしています。

前立腺肥大症とは

前立腺が大きくなる病気を前立腺肥大症といいます。原因ははっきりしていませんが、一般的に加齢により大きくなるのが知られており、一種の老化現象とも考えられます。

前立腺が肥大すると、尿道が狭くなり、排尿に関係する様々な症状が出現します。一方で、前立腺が肥大しても、全く症状がない方もおられます。悪性の病気ではありません。(図1参照)

症状

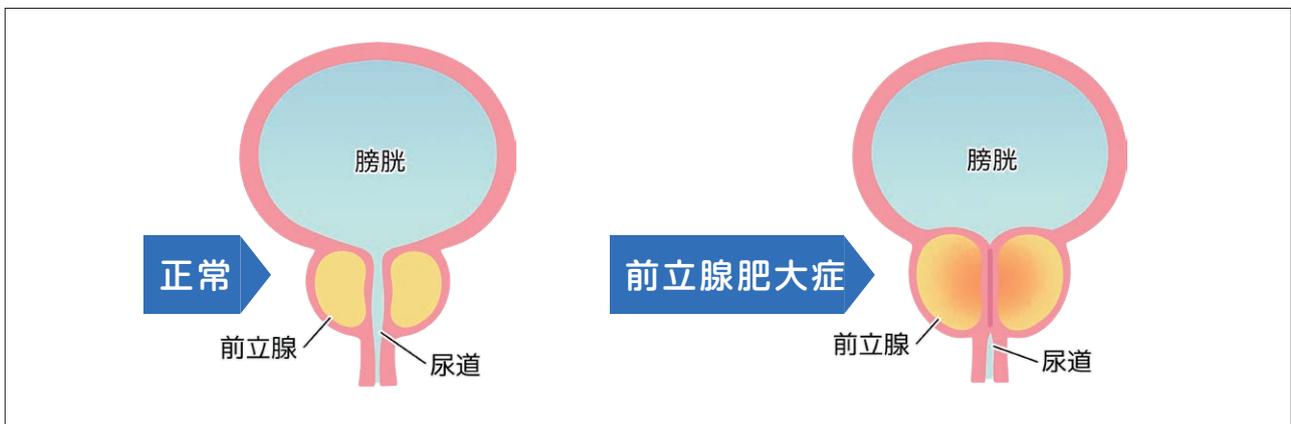
頻尿(特に夜間頻尿)をはじめ、尿に関わる様々な症状が出ます。

時に尿閉といって、自力で尿が出せなくなってしまうことがあります。尿閉は、前立腺肥大症の方が、風邪薬内服、飲酒を契機にしばしば発症し、緊急を要する病態です。

検査

検尿	膀胱炎や前立腺炎の合併の有無を調べます。
採血	PSA(前立腺癌の腫瘍マーカー)を測定し、前立腺癌の除外を行います。
腹部超音波/MRI	前立腺の大きさや形態、残尿の有無を調べます。
尿流検査	尿の勢いや、排尿時間を調べます。

【図1】



治療

無症状の方、または症状軽微で治療を希望されない方は、経過観察となります。

中等症の方は、内服による治療を開始します。前立腺の緊張を緩め、排尿をスムーズにする薬や、前立腺を縮小させる薬があります。

重症（尿閉）の方、薬物治療で十分な症状改善が得られなかった場合は、手術を行います。

手術

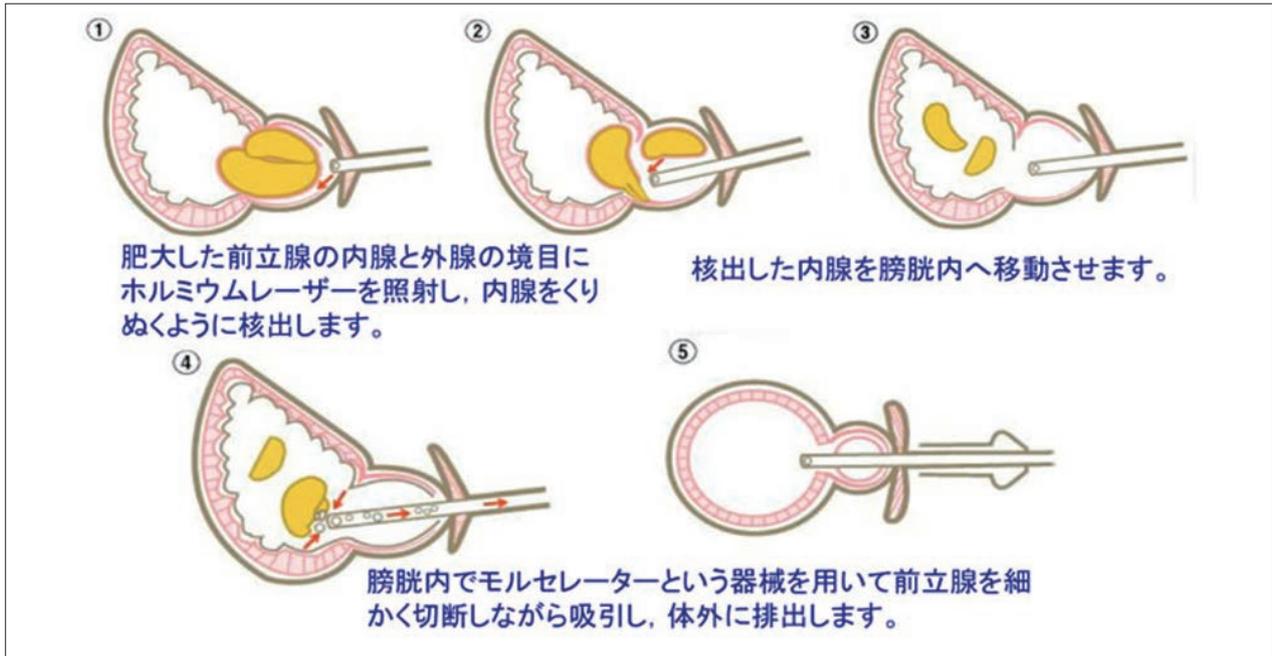
当院では、ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を行っております。従来型の経尿道的前立腺切除術（TURP）に比べ、出血やそれに伴う輸血リスク、周術期の合併症が少ないと言われております。

手術は全身麻酔で行い、手術時間は2時間前後、入院期間は1週間程度です。（図2参照）

気になる方は、まずはかかりつけ医にご相談ください。



【図 2】



（岡山大学病院泌尿器科 HP より引用）

インフォメーション

医師の異動

（順不同）

耳鼻いんこう科医師 三浦 直一
 循環器内科医師 今村 繭子
 循環器内科医師 平原 知晃
 消化器内科医師 辻野 友樹
 整形外科医師 久禮 美穂
 整形外科医師 守屋 真我

2024年4月1日付 新任

婦人科医師 篠崎 真里奈
 小児科医師 有吉 俊樹
 外科医師 佐藤 真歩
 形成外科医師 西尾 俊彦
 胸部外科レジデント 白羽 範昭
 脳神経外科レジデント 田村 遼
 外科レジデント 野坂 未公音
 消化器内科レジデント 浜田 健太郎
 心臓血管外科レジデント 前田 聖和
 循環器内科レジデント 村田 憲郁
 泌尿器科レジデント 池田 拳人
 呼吸器内科レジデント 白羽 慶祐

2024年3月31日付 退職・転出・任期満了

循環器内科医師 赤井 弘明
 循環器内科医師 高山 伸
 循環器内科医師 小出 祐嗣
 小児科医師 古澤 陽法
 消化器内科医師 石原 裕基
 消化器内科医師 村井 達哉
 整形外科医師 杉生 和久
 整形外科医師 佐藤 嘉洋
 内科医師 中岡 幹彦
 脳神経外科医師 馬場 芙希子
 泌尿器科医師 藤井 孝法
 婦人科医師 中村 一仁
 循環器内科レジデント 永野 友樹
 胸部外科レジデント 近藤 薫
 外科レジデント 土井田 進
 小児科レジデント 守家 将平
 形成外科レジデント 高野 英実
 循環器内科レジデント 近間 俊介
 心臓血管外科レジデント 吉田 文哉



『ほっとサロン虹』のご案内

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。…毎月第3金曜日開催(8月は休み)

日時：5月17日(金) 14:00～15:00

場所：2階患者図書室

テーマ：人生会議をしてみよう

対象：がん患者さんとご家族

講師：緩和ケア認定看護師

(院外の方も参加できます)



脳神経外科 『脳卒中を知る』 2023年度 第2回市民公開講座

2024年2月17日(土)13時より、当院研修センターにて市民公開講座を開催しました。

医師の働き方改革の下での脳卒中診療

荻原診療部長

医師の長時間労働により支えられてきた、いつ・どこにいても必要な医療が受けられる社会を継続していくためには、医師の働き方改革が必要であることをお話ししました。

岩国の脳卒中診療を知る

日下医長

当院は医療圏が広く、近隣に対応できる施設が少ないこと、アプリを導入したことで搬送時に患者さんの情報をより早く知ることができるようになったことなどのお話しでした。

脳卒中の新しい治療(低侵襲治療)を知る

西医師

切らずに治すカテーテル治療の最先端、小さな傷で治す内視鏡手術など、当院では可能な限り低侵襲な治療を目指しているということのお話しでした。

脳卒中の初期症状と予防方法を知る

馬場医師

麻痺やしびりにくさがでたら早く受診すること、予防のためにはかかりつけの先生と生活習慣病の治療をすること、とのことでした。



岩国医療センター附属岩国看護学校

『卒業式』～思い出のアルバム～

令和6年3月1日



答辞



表彰された方々



表彰



多くの方々から寄せられた祝辞

今月の表紙：看護学校卒業式